

# 平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 880

所管部局	福祉部	所管課	高齢福祉課	担当者名	上嶋 英孝
事業名	食の自立支援事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	食の自立支援事業			政策体系	145
会計	介護特会	科目	4.地域 - 2.包括 - 2.任意		

## 1. 事業の概要

食事の支度が困難な概ね65歳以上の高齢者等に、栄養のバランスの取れた食事を定期的に提供するとともに、配達の際、当該利用者の安否確認を行っている。

## 2. 事業の目的と必要性

### ① 施策で目指す目標との関連付け

食の自立支援サービスのにより、高齢者や障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できるように支援する。

### ② 事業を実施する必要性

調理が困難な高齢者や障がい者にとって、見守りを兼ねた配食サービスの提供は自立した在宅生活を送る上で、必要不可欠である。

## 3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	17,282	19,859	25,040	23,187	26,600	29,836	32,222
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	5,320	5,967	6,444
	国・府支出金	千円	0	0	0	15,960	17,901	19,333
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	17,282	19,859	25,040	2,723	5,320	5,968
職員等の従事人員	人/年	—	—	0.24	0.20			
人件費	千円	—	—	1,544	1,099			
事業費総額	千円	—	—	26,584	24,286			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。  
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

## 4. 主な事業費の内訳

委託料 25,580,000円

## 5. 事業結果の概要

述べ提供食数 35,427食  
 実利用人数 159人

## 6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) 事業		
●食の自立支援事業 食事の支度が困難なため日常生活に支障のある高齢者等、又は食生活の改善が必要と認められる方に対し、定期的に栄養バランスのとれた食事を自宅まで配達するとともに、配食時に利用者の安否の確認を行う。〔対象者〕おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者又は高齢者世帯、もしくは重度障害者で、食事の支度や家族等による食事の提供が困難な状況にあるもの〔利用者負担〕1食500円	年間	35,427食 事業費 25,580千円

## 7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

食事の支度ができない方への配色サービスは、栄養バランスの取れた食事にとどまらず、安否確認をかねた見守り体制の確保は生活支援上有効な事業であり、今後も積極的に事業展開を行なうが、介護食の対応等のサービスについて検討しなければならない。

### 【参考】過年度の評価

#### ■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効果を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点  
見守りや介護食対応など少しでも長く住み慣れた地域で生活できるように介護予防の効果について議論した。
- ②当該事業のアピール事項  
食事の支度ができない方への配食サービスは、栄養バランスのとれた食事の提供にとどまらず、安否確認を兼ねた見守り体制の確保は生活支援上有効な事業である。
- ③反省点、今後の展開・方向性  
今後とも積極的に事業展開を行なうが、配達曜日、介護食対応等サービス内容の地域格差を解消する必要がある。